

中高生の居場所づくり

取組の背景・目的

グループで来館する中高生だけでなく、1人で閉館時間ギリギリまで利用する中高生が数名いたことで、1人でも来やすい施設の必要性を感じ、個人でも中高生が主体的に活動できるように体育館での活動や音楽スタジオ・ダンススタジオの貸し出しや神明食堂の開催などを行っています。

一人で来ても「やりたいことができる」、「ふらっと寄れる」中高生の居場所を目的としています。

取組の概要

<小学生時代からの継続>

- ・太鼓をたたこう(週1回)/ハイスクール☆ダンス(月1回)

外部講師指導のもと、ダンススタジオにて和太鼓やダンスの練習に励んでいます。

もともと小学生のプログラムでしたが、中高生になっても続けたいという中高生の声から事業が始まりました。1年間同じメンバーで地域のお祭りや施設の発表などに向けて練習に励み、小学生にとっても目標となる存在です。

<1人で来ても過ごせる環境>

- ・しゃべくり TeeeeN(月2回 19:00~20:00)

ラウンジにて中高生のニーズを聞ける機会としてやってみたいゲームや最近学校で流行っていることを共有し、中高生の交流の機会となっています。今年度からは、お菓子やジュースの提供を再開し、飲食をしながら交流を深めています。

中高生から上がったニーズは、次回のしゃべくり TeeeeN の際に実施することもあります。

- ・個人プログラム(週2回 18:00~19:00※第2水曜、第4金曜は19:50まで)

当日集まったメンバーで、やりたいスポーツを決め、体育館での遊びを楽しんでいます。

1人で来ても、気軽に参加できるプログラムです。

- ・ソロ☆プロジェクト(月1回、18:00~19:50)

音楽スタジオ・ダンススタジオの団体利用のほかに、音楽スタジオでの個人練習や楽器体験などを行っています。初めて楽器を触ったり、個人での練習に励んだり、一人ひとりのペースにあった練習を行うことができます。

- ・神明食堂(年3回 18:00~20:00)

地域のボランティアの方にご協力いただき、年に3回ほどクッキングを実施しています。

自ら作り、食べる過程を通して地域の方との交流や、食を見直す機会になっています。

メニューは、中高生の意見を反映し決定するなど、中高生が主体的に活動出来るようなプログラムを目指しています。

事業の実施方法

(株)日本保育サービスによる指定管理

職員体制

それぞれの事業に1名職員を確保しています。どの事業にも担当者(常勤)を必ず1名以上つけ、事業の日程調整や中高生のサポートを行っています。

工夫点・留意点

どの事業にも、1人で来て参加のできる内容を取り入れ、中高生の居場所となるように工夫しています。特に、「個人プログラム」や、「しゃべくり TeeeN」では、当日集まったメンバーで遊びを決めるため、初めて来館しても楽しめよう、職員がサポートしています。

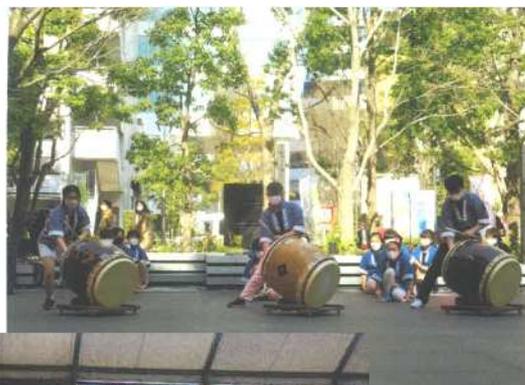
また、「太鼓を叩こう」や「ハイスクール☆ダンス」では、小学生の頃からのプログラムを継続することで、中高生との繋がりを持ち続けることができ、小学生の良いお手本になっていると感じています。

取組の効果

神明食堂では、地域のボランティアの方にご協力いただき、彩りやバランスを考えたメニューを考え、作り、最後は喫食をしながら交流をい行います。



また、港区内の中高生プラザとの合同イベントでのステージ発表や、地域のおまつりなどへの積極的に参加し、中高生同士の交流や地域の中での居場所づくりを支援しています。



課題・今後の展開

コロナ禍が明け、中高生の利用も少しずつ増えてきているため、中高生のニーズをしっかりと把握し反映させていくことが課題として挙げられます。特に、体育館やスタジオを利用する中高生の希望に沿った環境設定や備品の管理などが必要だと感じています。

また、中高生が乳幼児や小学生と関わる機会として中高生のボランティア積極的に取り入れていきます。得意なことを活かして人の役に立つ体験をし、中高生の居場所となるような機会を持っていきたいと考えています。